

平成 30 年度いわき市病院事業会計決算の概要

- 1 当病院は、26 の診療科を有し、病床数 700 床（旧病院は 761 床）により、福島県浜通り地方の高度急性期医療を担う中核病院として地域住民の健康保持に必要な医療提供の役割を果たしているところであります。
- 2 年間総延患者数は、入院が 184,607 人、外来が 228,453 人であり、前年度と比較し、入院は 6,393 人の減少、外来は 3,851 人の増加となりました。入院は、主に消化器内科、循環器内科の患者が減少し、外来は、主に整形外科、呼吸器外科の患者が増加しました。
- 3 収益的収支は、収入が前年度に比べ 1.5%減の 207 億 7,515 万 439 円、支出が前年度に比べ 6.1%増の 208 億 5,753 万 7,511 円となり、8,238 万 7,072 円の当年度純損失を計上することとなりました。
 - (1) 主な収益的収入としては、医業収益が新病院への移行に伴う診療制限により、患者数が減少したことなどから収益減となったことにより、前年度に比べ 1.1%減の 178 億 2,805 万 395 円となりました。なお、患者一人一日当たりの収入は、入院が 74,797 円、外来が 15,910 円であり、前年度と比較し、入院は 292 円の減少、外来は 1,058 円の増加となりました。
 - (2) 主な収益的支出としては、医業費用が職員数の増に伴う給与費の増や患者の診療に使用する薬品や診療材料等の材料費の増に加え、新病院への移転費用等に伴う経費の増などにより、前年度に比べ 7.4%増の 198 億 5,245 万 189 円となりました。
- 4 資本的収支は、新病院建設事業に係る収入、支出が増加したことにより、収入が前年度と比べ 119.3%増の 181 億 5,704 万 1,207 円、支出が前年度と比べ 108.8%増の 186 億 6,328 万 7,182 円となりました。
 - (1) 主な建設改良工事としては、新病院事業について、本体工事及び解体工事を実施しました。
 - (2) 医療器械としては、医療業務の向上を図るため、リニアック装置や血管撮影装置、SPECT-CT 装置など 258 品目を 59 億 1,443 万 9,370 円で購入しました。
- 5 令和元年度は、「いわき市医療センター」としての診療が通年化することとなりますが、引き続き、医療の質の向上と患者サービスの充実に努めるとともに、将来にわたり持続可能な病院経営の確立に努めて参ります。